

## 用語解説

### 【PH】

水の酸性とアルカリ性の度合を示す指標で、中性の水はPH=7で7より小さいものは、酸性、7より大きいものは、アルカリ性です。植物プランクトンの光合成などにより、数値が増減します。

### 【BOD】

水中の比較的分解されやすい有機物が微生物によって分解される酸素量のことです。

主に河川における生活環境項目として採用されており、この数値が大きいほど水中に有機物が多いことを意味します。

### 【COD】

水中の有機物等に酸化剤で酸化する際に消化される酸化剤の量を酸素量に換算したものです。主に海域や湖沼における生活環境項目として採用されており、この数値が大きいほど水中に有機物等が多いことを意味します。

### 【浮遊物質（SS）】

水中に浮遊している不溶解性の粒子状物質のことで、粘土鉱物に由来する微粒子や動植物プランクトン及びその死骸、下水、工場排水などに由来する有機物や金属の沈殿などが含まれます。一般にきれいな河川では粘土分が主体ですが、汚濁が進んだ河川では有機物の比率が高くなります。

### 【溶存酸素量（DO）】

水中に溶けている酸素の量をいいます。水中で消費される酸素の量が多いと、溶存酸素量は少なくなります。きれいな水ほど酸素は多く含まれます。

### 【全窒素】

全窒素は無機体窒素と有機体窒素の総量で表され、無機体窒素にはアンモニア体窒素、亜硝酸体窒素及び硝酸体窒素があります。水中の窒素が増加するのは、し尿や肥料などに多量に含まれているため、生活排水、工場排水、農業排水などの流入による場合が多く、水中のリンや窒素などの栄養塩が多くなると、富栄養化の状態となり、藻類の異常繁殖により赤潮などの原因となります。

### 【全リン】

全リンは、リン化合物全体のことをいいます。リンは、動植物の増殖に欠かせない元素で、富栄養化の目安となります。

■ 水質汚濁に係る環境基準につきましては、環境省ホームページをご覧ください。



環境省ホームページ(水質汚濁に係る環境基準)